

被害想定を行う対象となる断層

【論点】

被害想定を行う対象とする断層は、どのように考えるか。

【事務局案】

津波浸水想定（平成 27 年度）の際に計算対象として選定した、最大クラスの津波を起こす地震の断層について、被害想定を行う対象断層とする。

⇒ 日本海中部地震、F20、F24、F49、F52、F53、F54

【理由】

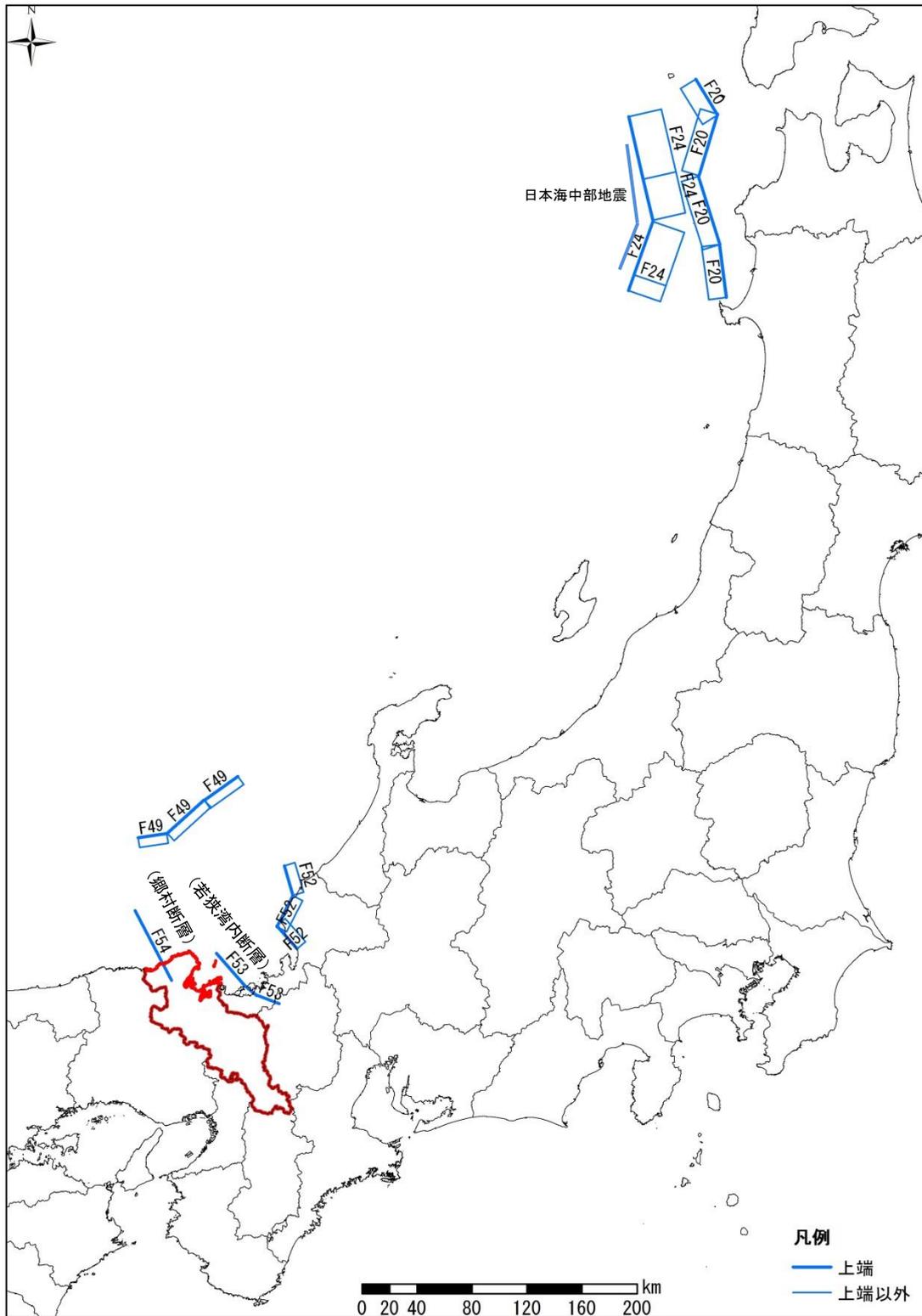
- ・今回の被害想定は、昨年度実施した津波浸水想定を受けて実施するものであり、最大クラスの津波による被害の全体像の把握・対策の推進のために活用するものであるため。

津波浸水想定の際に計算対象とした断層のパラメーター

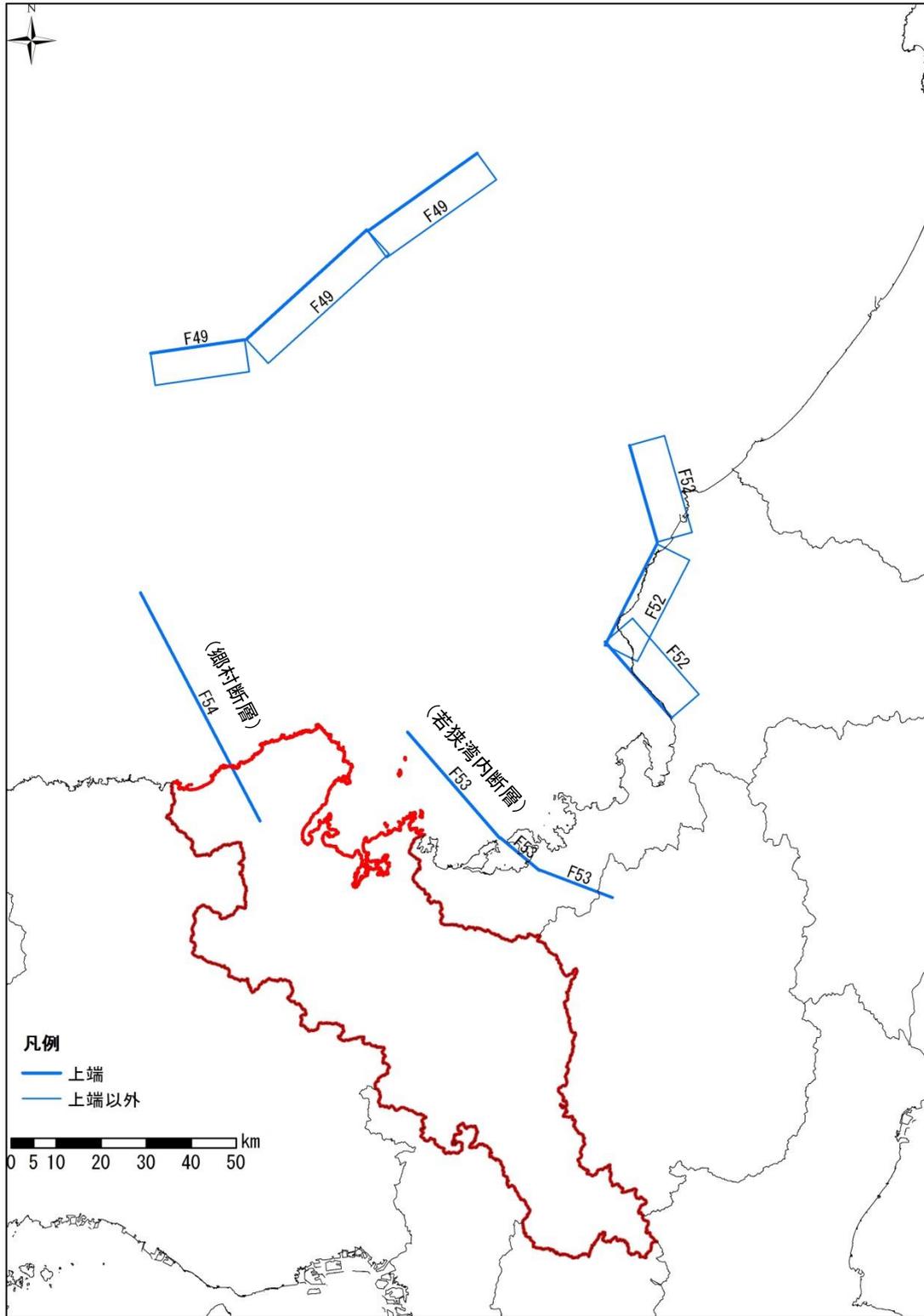
断層モデル	Mw	上端深さ (km,TP-)	下端深さ (km,TP-)	走向 (度)	傾斜 (度)	断層長さ (km)	断層幅 (km)	合計断層長さ (km)	合計断層面積 (km ²)
日本海中部地震	7.70	2.0	(21.0)	22	40	40	30	100	3,000
		3.0	(16.0)	355	25	60	30		
F20	7.80	2.0	15.0	151	45	30.8	18.4	170	3,118
		2.0		199	45	47.2	18.4		
		2.0		165	45	52.4	18.4		
		2.0		175	45	39.2	18.4		
F24	7.86	3.9	18.0	21	30	53.7	28.2	132	3,717
				349	30	77.9	28.2		
F49	7.39	2.4	15.0	81	60	21.1	14.5	87	1,268
				47	60	36.3	14.5		
				54	60	29.9	14.5		
F52	7.34	1.1	15.0	319	60	22.5	16.1	70	1,133
				27	60	25.4	16.1		
				344	60	22.5	16.1		
F53	7.21	1.0	15.0	291	90	17.2	14.0	60	840
				310	90	11.4	14.0		
				319	90	31.3	14.0		
F54	7.19	1.1	15.0	332	90	57.6	13.9	58	799

※出典：日本海における大規模地震に関する調査検討会「日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書」（H26.9）

※日本海中部地震の下端深さは、傾斜度から算出



震源位置（津波波源モデル） 広域図



震源位置（津波波源モデル） 京都府付近